

施策	1101 環境の保全						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民、職員						
施策が目指す姿	自然環境の保全、衛生環境の改善、河川環境の整備・管理、ごみの不法投棄の防止等を進める。						
成果指標	ごみの不法投棄量 5年間(H25～29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25～29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)						
目 標 達 成 状 況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [m3]	予定	49.00	87.00	85.00	82.00	80.00
		実績	90.00	118.60	82.00	83.00	44.10
	成果指標2 []	予定	12,795.00	16,830.00	16,660.00	16,490.00	16,320.00
		実績	17,671.00	24,930.00	21,166.00	21,959.00	26,005.00
		単位コスト	107.69	73.53	80.53	91.55	83.09
	成果指標3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 []	予定					
実績							
単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定	2,141,704	1,769,167	1,720,559	2,009,192	2,180,837	
	実績	1,903,069	1,833,097	1,704,463	2,010,403	2,160,673	
内 部 評 価	貢献度	本施策は公害対策や不法投棄、特にごみ収集運搬委託など、市民生活に直結するものであり大きく貢献すると考えられる。					
	達成状況	単位施策においては達成度がおおむね100となった。					
	課題	達成度が100になった事業についても、ごみ出しマナーの向上や野焼きの禁止など市民への更なる周知啓発が必要である。					
	取組方針	現状に合わせて目標値の設定や事業内容などを柔軟に対応しながら、環境の保全に取り組む。環境保全事業への参加者が増加するよう広報、ホームページ等で周知に努める。					
外 部 評 価	ごみの不法投棄量は、大幅に減少し成果目標を達成しているが、引き続き削減に向けて、不法投棄防止の看板や監視カメラの増設など、監視体制の強化を図るべきである。監視カメラの設置は、不法投棄者の摘発につながるよう設置位置などを工夫する必要がある。 市への要望や苦情などの対応について、今後の環境美化に有効な対策があれば情報を公表するなど、積極的に市民への働きかけをしてほしい。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	150101	環境課一般経常事務費				9,656	100
	150102	環境衛生事務費(大平)				1,500	100
	150103	環境衛生事務費(藤岡)				2,250	100
	150104	環境衛生事務費(都賀)				150	100
	150105	環境衛生事務費(西方)				1,125	100
	150401	エネルギー使用量管理業務委託費				4,961	100
	152401	公害対策費				16,885	100
	152402	公害対策費(大平)				3,750	100
	152403	公害対策費(藤岡)				2,250	100
	152404	公害対策費(都賀)				750	100

平成29年度 単位 施策評価表 補表

施策	1101 環境の保全		
区分	妥当性	妥当	環境の保全についての評価は妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業の集約や見直しなどによりコスト削減の余地がある。
	受益者負担	適正	受益者負担はないため適正である。
	上位貢献度	有効	基本施策の成果指標達成には貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	ごみ収集等についての環境保全事業に類似の事業はない。
	成果向上の余地	有	今後適切に事業を行うことで、豊かな自然環境の保全の向上が見込まれる。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	本施策は地球温暖化対策や不法投棄、特にごみ収集運搬委託など、市民生活に直結するものであり大きく貢献すると考えられる。	
	達成状況	不法投棄防止の監視カメラの増設を実施した。 子供の頃から環境保全への意識を高めるため出前教室、及び3Rポスターの募集を実施した。	
	課題	より多くの子供が参加できる体験学習の場を検討する必要がある。	
	取組方針	環境課主催のイベントにおいて、体験学習の場を設ける。 市有施設の温室効果ガス排出量削減については、職員への研修会を定期的実施する。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	本施策は地球温暖化対策や不法投棄、特にごみ収集運搬委託など、市民生活に直結するものであり大きく貢献すると考えられる。	
	達成状況	単位施策においては達成度がおおむね100となった。	
	課題	ごみ出しマナーの向上や野焼きの禁止など市民への更なる周知啓発が必要である。 また、市有施設の温室効果ガス排出量削減については、職員の意識向上を図る必要がある。	
	取組方針	現状に合わせて目標値の設定や事業内容などを柔軟に対応しながら、環境保全に取り組む。 今後も環境啓発及び市有施設温室効果ガス排出量の削減に対して積極的に推進していく。	